

産地パワーアップ事業の取組事例

(北海道)

取組の概要

取組の概要 : 水稲直播・無代かき栽培や田畑輪換体制の確立による販売額の増加
計画作成主体 : 小平町農業再生協議会
対象品目 : 水稲 産地面積: 91.5 ha
小麦 産地面積: 86 ha
そば 産地面積: 121 ha
大豆 産地面積: 21 ha
主な取組主体 : 南るもい輪作研究会
成果目標 : 販売額の10%以上の増加(10a当たり)
助成金の活用 : 生産支援事業(水稲直播栽培関連機械等)状況

ポイント

当地区は段差や排水不良の土壌が多いため、ほ場物理性改善機械や均平作業機等の導入により、転作田の均平と重粘土壌の物理性を改善し、田畑輪換による連作障害の回避と収量・品質の向上を図る。また、併せて水稲直播・無代かき栽培の導入を拡大し、省力化を図り、収益向上を実現させる。

地区の概要



北海道
小平町
留萌市、小平町、
増毛町

産地の現状と目標

現状:H28年度

作付面積(水稲・小麦・そば・大豆):133.6ha
水稲労働時間:11.8hr/10a
小麦・そば1等比率:40%
大豆1等比率:30%
販売額:291,525円/10a

目標:H30年度

作付面積(水稲・小麦・そば・大豆):319.5ha
水稲労働時間:6.7hr/10a
小麦・そば1等比率:50%
大豆1等比率:50%
販売額:332,994円/10a



推進体制

地域の関係者(南るもい農協、留萌市、小平町、増毛町、農業共済組合、農業改良普及センター、ホクレン等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

主な取組

直播専用品種の実需者との試食会・商談会

道・市町村単独事業

農業用ビニールハウス資材購入費補助事業

事業効果

水稲直播・無代かき栽培の導入拡大による省力・低コスト化。
転作田の物理性の改善による転作作物の作付拡大と田畑輪換による連作障害回避。
上記により収量・品質が向上し、販売額の増加を実現。

~対象品目の販売額~

